



大阪きょうだいの会

(大阪「障害」のある兄弟姉妹とともに歩むきょうだいの会)

●大阪きょうだいの会は自助グループ (セルフヘルプ・グループ)

「"生きていて本当に良かった。"ときょうだいと障害者がともに言える社会を創ろう」といっても、なかなか簡単ではありません。解決しようのない問題も実際には起きてきます。厳しい日々の暮らしの中で追い込まれ、「自分を大切にしたい」「人間らしく生きたい」という気持ちが萎えてくるときもあります。

「自己肯定感」が過度に傷つけられると、私たちは問題を独りで抱え込み、社会から孤立してしまいます。そして必要な時に「助けて」とSOSを出せなくなり、悲惨な結末を迎えてしまうこともあります。

自助グループの究極の目的は、どんな状況の中でも「自分を大切に生きて」「死なない」「生き延びる」というところにあると考えています。

ひとりだけで苦しむのはよそう
ひとりだけでボロボロ言うのはよそう
なぜならそれは皆の苦しみだから
"生きていて本当に良かった。"と
きょうだいと障害者が
ともに言える社会を創ろう!!
.....
全国きょうだいの会発足時の
呼びかけ文 (1963.4)

●例会 (きょうだいカフェ)

障害児者の<きょうだい>としての自分の生きづらさの体験や気持ちを語れる場 (吐き出す、解放する)、分かちあえる場 (体験、気持ち、情報) を創りたい・・・という思いで例会 (きょうだいカフェ) を開催しています。

例会は<きょうだい>の「語りと傾聴」の場です。「同じ体験をした人でないと、絶対に私の気持ちは分からない」といわれます。ですから参加対象を<きょうだい>に限定しています。

私たちが大切にしていることは、「同じ境遇の仲間がいる」「みんな自分の話に真剣に耳を傾けてくれている」「きょうだいの混沌とした感情や思いが一方的に否定されることがない」「説教されることがない」「ここは安心できる場だ」という参加者の実感です。

例会では自分が抱えている問題を仲間のサポートを受けながら、自分自身で解決の道を探っていくことをめざしています。お互いが<支援者-被支援者>の対等な関係にあります。同席した先輩の姿がロールモデルになることもあります。

●例会の日程

参加者は8名前後の小さな集まりです。年齢は20代~60代と幅広く、女性が少し多いです。例会の後は、自由参加のアフタートーク (居酒屋での飲み会) も行なっています。よろしかったら足をお運びください。歓迎します。

2017年

★第41回例会=9月24日(日)

会場=港区民センター (2階和室)。▽住所 =大阪市港区弁天2-1-5、▽交通=地下鉄中央線「弁天町」駅2B出口・JR環状線「弁天町」駅南出口から中央大通り沿いに西へ徒歩7分、途中右側に港消防署あり。

★第42回例会=11月26日(日)

会場=カタリーナホール玉造 (2階和室)。▽住所=大阪市天王寺区元町3-1、▽交通=JR環状線・地下鉄長堀鶴見緑地線「玉造」駅前、徒歩4分。

2018年

★第43回例会=1月28日(日)

会場=サンスクエア堺 (予定)。▽住所=堺市堺区田出井町2-1、▽交通=JR阪和線「堺市」駅前、徒歩4分。

★第44回例会=3月28日(日)

会場=大阪手をつなぐ育成会。▽大阪市東成区玉津2-11-28、▽交通=JR環状線・地下鉄千日前線・近鉄奈良線大阪線「鶴橋」駅から徒歩10分。

※いずれも13:15開場、13:30~16:30。内容=みんなで語ろう、情報交換など。対象=概ね18歳以上の「障害児者の兄弟姉妹」。参加費=1,000円 (会場費・資料代・通信費など)。申込み=不要、当日会場へ。

【問合せ】大阪きょうだいの会世話人会事務局 090-2384-9368 (溝上)